

— 2期制・英語・道德の通知表 —

私たちが日々の教育を行うよりどころとなるものに「学習指導要領」があります。世情を反映しておおむね10年に1回、内容が見直されます。どの指導要領で教育を受けたかは、たとえば「ゆとり世代」のように、マスコミでも取り上げられることがあるほどです。現行のものの特徴は、授業時間が増えて、「外国語活動」が導入されました。その指導要領がまもなく改訂の時期を迎えます。今、あま市の小中学校では、その準備を着々と進めています。

すでにおたよりやPTA総会でお知らせいたしましたとおり、あま市の小学校は、今年度から2期制に移行しました。長年親しんだ「1学期・2学期・3学期」というまともりは、「前期・後期」になります。休みの前後の「終業式」「始業式」は、授業時間として割り振ります。前期の終了が10月19日、後期の開始が10月22日なので、前期は夏休みを、後期は冬休みをまたぎます。休み前に3回お渡ししていた通知表は、前期最後の日と修了式の2回になります。

さて、その通知表には、「前期、後期、学年」の各教科や行動所見欄の評価の他に、新しく「特別の教科 道德」の欄が設けられました。1年間を通して、正則の子の道德的な価値の見方・考え方がどのように変わったかを、学年末に文章で評価することになっています。また、高学年には、「コミュニケーション」「外国語への慣れ親しみ」「言語や文化に関する気づき」の3観点について文章で記述する「外国語活動の記録」の欄が設けられました。前期で評価できない欄は後期に記入され、学年末にはすべての観点を評価することになっています。現在、学習の進め方や評価のしかた、通知表の書き方など、学校を上げて勉強中です。

新しい学習指導要領が完全実施されるのは、2年後の2020年。東京オリンピックの年です。2年の移行措置の間に、私たちは学習内容や手立てをしっかり学び、正則の子をよりよく伸ばすことができるように準備を整えなければなりません。日常の指導に追われる先生方が、研修のためにまとまった時間を割けるのは夏休み。その夏休みがもうすぐやってきます。先生方は少なくとも3回、多いと7回以上研修会に参加します。正則の子に夏休みの課題が出るように、先生方にもたっぷりと勉強してもらいます。でも、新しい知識、斬新なアイデアに触れるのは、それほど苦痛ではないはずです。学級のために、目の前の子どものために、何か役立つものがあると信じているからです。今年の夏は、去年よりも暑い熱い夏になりそうです。

今日を含めて、夏休みまでの登校日はあと5日です。



※ 今回は、文字ばかり。暑苦しい紙面になりました。すみません。